

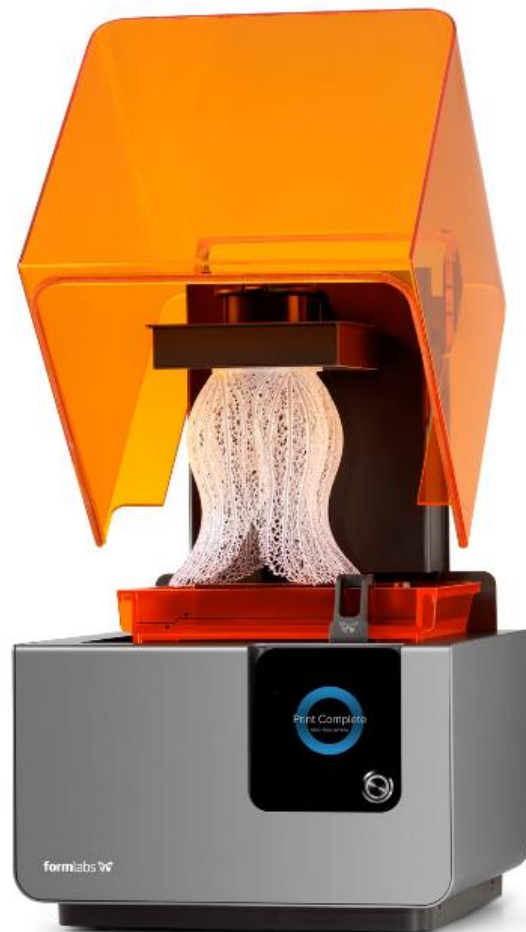
Form 2

メンテナンス A

造形品質を高める為の 点検・清掃について

基本編 4

レジン・レジンタンクの点検・清掃・交換



Ver1.1

4. レジン・レジンタンクの点検・清掃・交換

レジンタンク内部の点検

・レジンタンク内にレジン（樹脂）が入っている場合、造形前に埃や破片がレジン内にあったり、レジンタンク底にレジンの塊が貼り付いていないか点検します。

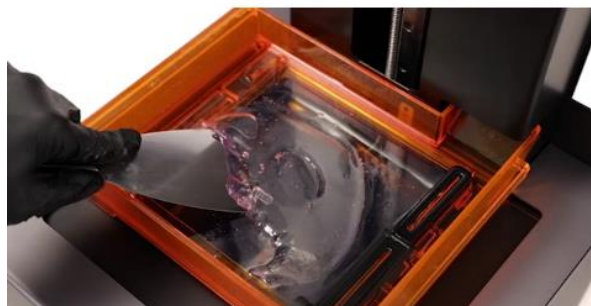


スクレーパーを使ってレジンタンク表面をやさしくなぞります。

必要な工具：

- ・スクレーパー
- ・ペーパータオル
- ・ニトリル製手袋

Form 2本体から、ワイパーを取り外します。ニトリル製手袋をはめます。仕上げ用キット(Finishkit)に付属のスクレーパーを使用して、左上端から下方向に弾性層の底までゆっくりスクレーパーを滑らせ、優しく表面をなぞります。続けて右側にずらして下方向に滑らせていき、レジンタンク底面にレジンの塊等がくっついていないか確認します。



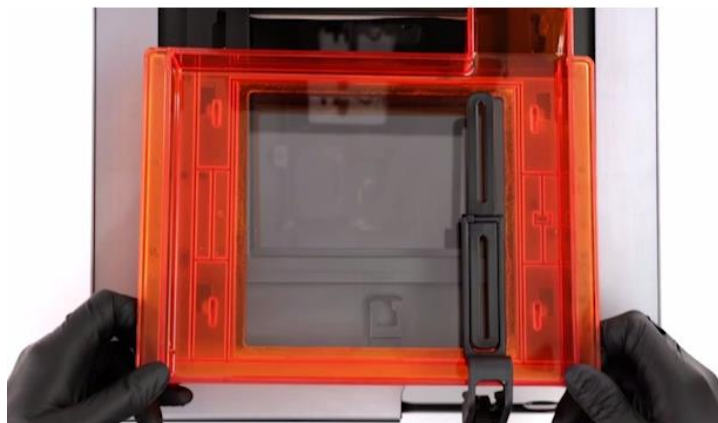
レジンタンク表面にレジンの塊がくっついている場合、スクレーパーをブレード部分を浅い角度でPDMS層に入れ、全体を撫でるように軽く擦って取り除きます。



取り除いたレジンの塊はペーパータオルに包んで破棄します。

4. レジン・レジンタンクの点検・清掃・交換

レジン内の埃・破片・塊等の点検



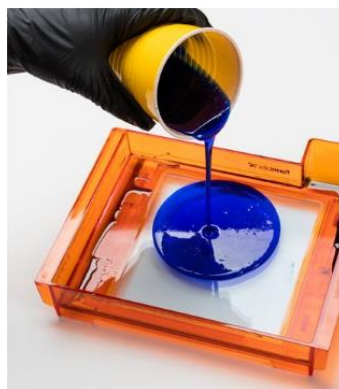
・レジンタンク内にレジン（樹脂）が入っている場合、造形前に埃や破片等がないか確認してください。埃や破片等がレジンタンク内にある場合は、Finishkitに付属のピンセットを使って、取り除いてください。

・埃や破片・レジンの塊等がない場合、ワイパーを本体から外し、手動で左右に動かし、レジンタンク内のレジンを攪拌します。

レジンのろ過

必要な工具：

- ・ペーパータオル
- ・ろ紙
- ・（レジンをろ過する際の）使い捨て容器



レジン内の埃・破片・塊等が取りきれない場合、もしくは造形が失敗し破片や・塊等がレジン内に残った場合、レジンタンクに入っているレジンをろ過し、不純物を取り除くようにしてください。

1. レジンタンクに入っているレジンをろ紙に移し、ろ過します。
2. ろ過したレジンをレジンタンクに戻します。
3. レジンタンクに付属のワイパーを本体に取り付ける前に、手動で左右に動かし、レジンタンク内のレジンを攪拌します。

4. レジン・レジンタンクの点検・清掃・交換

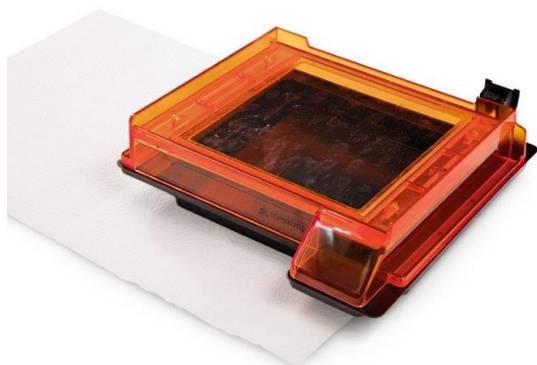
レジンタンク外側の点検について



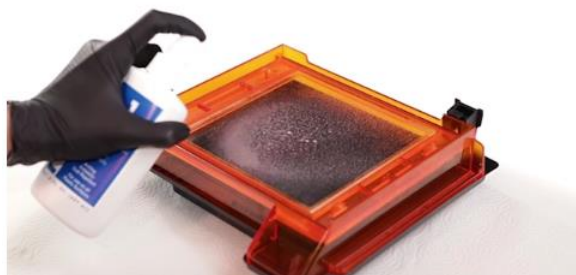
必要な工具：

- ・ NOVUS No.1クリーナー
- ・ マイクロファイバー
- ・ ニトリル製手袋

レジンタンクの底面にあるアクリル窓や側面に埃、指紋またはその他の汚れが付いている場合は、NOVUS No.1クリーナーと清潔なマイクロファイバーを使って拭き取ります。



レジンタンク内のレジンを紙コップ等に移し、タンク内を空にします。レジンタンク付属の蓋をかぶせます。ペーパータオルを下に敷いて、レジンタンクを裏返し、透明のアクリル窓斜めからライトを当てて、表面に埃や指紋・汚れがついていないか確認します。

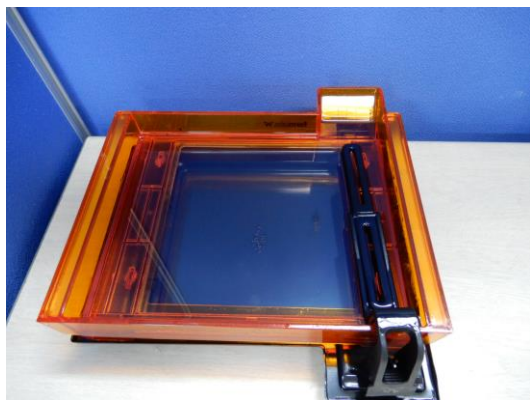


ニトリル製手袋をはめ、NOVUS No.1クリーナーと清潔なマイクロファイバー布を使って拭き取ります。NOVUS No.1を布に1-2回吹き付け、上から下に向かって大きなストロークで窓全体を拭きます。一回拭くごとに、布を折り畳み、絶えずきれいな面で拭くようにします。

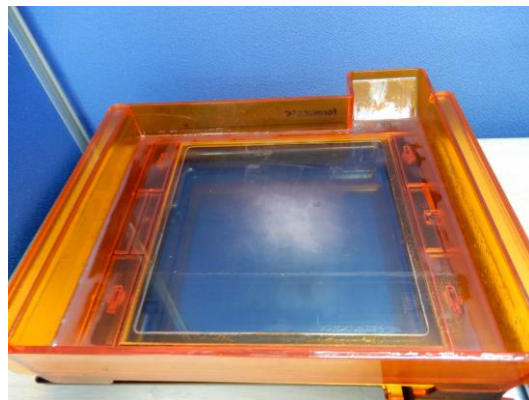
4. レジン・レジンタンクの点検・交換

レジンタンクの寿命・交換

レジンタンクの寿命は造形するサイズ、形状、積層ピッチ、モデルの方向、レジンの種類など様々な組み合わせによって変わってきます。レジンタンクには標準の「レジンタンク(オレンジ色)」と耐久性のある「レジンタンクLT (緑色)」があります。



レジンタンク初期の状態



白い曇りが出た状態

繰り返し造形をしていくと、右上写真のようにレジンタンク内底面に貼られているシリコン層（PDMS層）が剥がれ、白い曇りが出てきます。レジンタンク内底面が曇ると、レーザー光が当たりにくくなり、造形に失敗する確立が高くなります。この場合レジンタンクの交換をしてください。



標準のレジンタンク（オレンジ色）の場合、レジンカートリッジ2本につき1回の割合で交換いただくことをお勧めします。



レジンタンクLT（緑色）は、標準のレジンタンク（オレンジ色）と比較し、約5～10倍程度の耐久性があります。

（メーカーの公表値では、標準のレジンタンクと比較し約20倍の耐久性があると報告されています。）